

第9章

アンケート調査結果（小学生・中学生）

第9章 アンケート調査結果

1. 小学生のアンケート調査結果

(1) 分析結果（学年別・性別・評価グループ別 比較）

表1 京都市内6小学校の特性 (%)

	4年生 (n=328)	5年生 (n=338)	全体 (N=666)
男子	53.0	51.5	52.3
女子	47.0	48.5	47.7
合計	100.0	100.0	100.0

$\chi^2=0.16, d.f.=1, n.s.$

京都市内6小学校の特性として、4年生・5年生ともに男子児童の方が多い傾向にある。

表2 自身の体力に対する意識: 学年別比較 (%)

	4年生		5年生		全体	
	プログラム前 (n=325)	プログラム後 (n=324)	プログラム前 (n=335)	プログラム後 (n=338)	プログラム前 (N=660)	プログラム後 (N=662)
とてもあると思う	12.3	10.5	11.3	9.8	11.8	10.1
少しあると思う	27.7	31.2	29.6	25.4	28.6	28.2
普通だと思う	43.7	41.0	35.8	39.1	39.7	40.0
あまりないと思う	13.5	13.3	20.0	20.7	16.8	17.1
全くないと思う	2.8	4.0	3.3	5.0	3.0	4.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

$\chi^2=2.15, d.f.=4, n.s.$

$\chi^2=3.18, d.f.=4, n.s.$

$\chi^2=2.88, d.f.=4, n.s.$

自身の体力について、4年生・5年生ともに「普通だと思う」と回答する傾向が見られる。またプログラムを経て、自身の体力について「ある」と認識している者（「とてもあると思う」「少しあると思う」と回答した者）の割合が減少する傾向にある。

表3 自身の体力に対する意識: 性別比較 (%)

	男子		女子		全体	
	プログラム前 (n=345)	プログラム後 (n=347)	プログラム前 (n=335)	プログラム後 (n=338)	プログラム前 (N=660)	プログラム後 (N=662)
とてもあると思う	16.8	14.1	6.3	5.7	11.8	10.1
少しあると思う	33.6	32.6	23.2	23.5	28.6	28.2
普通だと思う	32.5	34.6	47.6	46.0	39.7	40.0
あまりないと思う	13.3	14.7	20.6	19.7	16.8	17.1
全くないと思う	3.8	4.0	2.2	5.1	3.0	4.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

$\chi^2=1.36, d.f.=4, n.s.$

$\chi^2=3.79, d.f.=4, n.s.$

$\chi^2=2.88, d.f.=4, n.s.$

自身の体力について、女子児童よりも男子児童の方が「体力がある」と認識している者の割合が多い。またプログラムを経て、男子児童・女子児童ともに、自身の体力が「ある」と認識している者（「とてもあると思う」「少しあると思う」と回答した者）の割合は減少する傾向にある。

表4 自身の体力に対する意識：評価グループ別比較 (%)

	Aグループ		Bグループ		Cグループ		全体	
	プログラム前 (n=230)	プログラム後 (n=230)	プログラム前 (n=212)	プログラム後 (n=213)	プログラム前 (n=214)	プログラム後 (n=214)	プログラム前 (N=656)	プログラム後 (N=657)
とてもあると思う	14.3	13.0	11.8	11.3	9.3	6.1	11.9	10.2
少しあると思う	32.2	31.3	24.5	20.2	29.4	33.6	28.8	28.5
普通だと思う	39.6	42.2	40.1	40.4	39.3	37.4	39.6	40.0
あまりないと思う	12.2	9.1	17.9	23.5	20.1	18.7	16.6	16.9
全くないと思う	1.7	4.3	5.7	4.7	1.9	4.2	3.0	4.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

$\chi^2=3.93, d.f.=4, n.s.$ $\chi^2=2.70, d.f.=4, n.s.$ $\chi^2=4.21, d.f.=4, n.s.$ $\chi^2=2.53, d.f.=4, n.s.$

(注) Aグループは「スタート力」、Bグループは「後半の加速」、Cグループは「切り返し動作」を課題としている。

自身の体力について、評価が高いグループほど「とてもあると思う」と回答した者の割合が多い傾向にある。また各グループともプログラムを経て、自身の体力が「ある」と認識している者の割合は減少する傾向にある。

表5 運動・スポーツ活動に対する意識：学年別比較 (%)

	4年生		5年生		全体	
	プログラム前 (n=324)	プログラム後 (n=322)	プログラム前 (n=337)	プログラム後 (n=318)	プログラム前 (N=661)	プログラム後 (N=640)
好き	58.0	60.6	59.3	56.0	58.7	58.3
どちらかと言えば好き	30.9	28.3	24.6	30.8	27.7	29.5
どちらかと言えば嫌い	9.0	9.3	11.6	9.7	10.3	9.5
嫌い	2.2	1.9	4.5	3.5	3.3	2.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

$\chi^2=0.64, d.f.=3, n.s.$ $\chi^2=2.15, d.f.=3, n.s.$ $\chi^2=1.08, d.f.=3, n.s.$

運動・スポーツ活動に対する意識は、4年生・5年生ともに肯定的な意見を持っており、プログラム後においてもその傾向は変わらないが、「好き」と回答した者が4年生で微増、5年生では微減であった。

表6 運動・スポーツ活動に対する意識：性別比較 (%)

	男子		女子		全体	
	プログラム前 (n=345)	プログラム後 (n=328)	プログラム前 (n=316)	プログラム後 (n=312)	プログラム前 (N=661)	プログラム後 (N=640)
好き	68.7	67.4	47.8	48.7	58.7	58.3
どちらかと言えば好き	22.3	24.7	33.5	34.6	27.7	29.5
どちらかと言えば嫌い	7.2	6.4	13.6	12.8	10.3	9.5
嫌い	1.7	1.5	5.1	3.8	3.3	2.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

$\chi^2=0.67, d.f.=3, n.s.$ $\chi^2=0.68, d.f.=3, n.s.$ $\chi^2=1.08, d.f.=3, n.s.$

運動・スポーツ活動に対する意識は、男子児童・女子児童ともに肯定的な意見を持っており、プログラム後においてもその傾向は変わらないが、「好き」と回答した者が男子児童は微減、女子では微増であった。

表7 運動・スポーツ活動に対する意識：評価グループ別比較 (%)

	Aグループ		Bグループ		Cグループ		全体	
	プログラム前 (n=230)	プログラム後 (n=219)	プログラム前 (n=211)	プログラム後 (n=207)	プログラム前 (n=215)	プログラム後 (n=209)	プログラム前 (N=656)	プログラム後 (N=635)
好き	69.6	70.3	51.7	48.3	53.5	56.5	58.5	58.6
どちらかと言えば好き	22.2	23.7	30.8	32.9	31.2	31.6	27.9	29.3
どちらかと言えば嫌い	5.7	5.5	13.3	13.5	12.6	10.0	10.4	9.6
嫌い	2.6	0.5	4.3	5.3	2.8	1.9	3.2	2.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

$\chi^2=3.47, d.f.=3, n.s.$ $\chi^2=0.62, d.f.=3, n.s.$ $\chi^2=1.11, d.f.=3, n.s.$ $\chi^2=0.93, d.f.=3, n.s.$

運動・スポーツ活動に対する意識は、各グループとも肯定的な意見が多い。Aグループ・Cグループでは、その意見がプログラム後に上昇する傾向にあるが、Bグループでは減少する傾向にある。

表8 好きな運動・スポーツ種目：学年別比較

	4年生 (n=288)	5年生 (n=283)	全体 (N=571)
アメリカンフットボール	0.3	0.7	0.5
ウォーキング	0.3	0.0	0.2
キックボクシング	0.3	0.0	0.2
ゴルフ	0.3	0.0	0.2
サッカー	20.5	19.1	19.8
スキー	0.0	0.7	0.4
スケート	0.0	0.4	0.2
ソフトテニス	0.3	0.0	0.2
ダブルダッチ	0.0	0.4	0.2
ダンス	2.4	1.4	1.9
チアダンス	0.0	0.7	0.4
チアリーディング	0.0	0.4	0.2
テニス	2.1	2.5	2.3
ドッチボール	6.3	2.5	4.4
ハードル走	0.0	0.7	0.4
バスケットボール	9.0	18.4	13.7
バドミントン	3.1	7.1	5.1
バレー	0.0	0.7	0.4
バレーボール	11.8	13.8	12.8
ハンドベースボール	0.7	0.0	0.4
ボクシング	0.0	0.4	0.2
マット運動	0.3	0.7	0.5
ラグビー	0.0	0.7	0.4
ランニング	0.0	0.4	0.2
リレー	1.7	0.0	0.9
外遊び	0.3	0.0	0.2
器械体操	0.0	0.4	0.2
鬼ごっこ	2.4	0.0	1.2
蟻地獄蹴った	0.3	0.0	0.2
逆立ち	0.3	0.0	0.2
空手	0.0	0.4	0.2
剣道	1.4	0.4	0.9
高跳び	0.3	0.0	0.2
柔道	0.3	0.4	0.4
水泳	9.0	7.4	8.2
走る	2.4	2.5	2.5
体操	0.0	1.1	0.5
卓球	1.4	0.7	1.1
短距離走	0.0	0.7	0.4
跳び箱	0.3	0.7	0.5
鉄棒	1.7	0.4	1.1
縄跳び	0.0	0.7	0.4
水鬼	0.3	0.0	0.2
幅跳び	0.0	0.4	0.2
野球	12.2	6.0	9.1
陸上競技	2.8	3.5	3.2
無回答	4.5	3.2	3.9
合計	100.0	100.0	100.0

表9 好きな運動・スポーツ種目：性別比較

	男子 (n=314)	女子 (n=257)	全体 (N=571)
アメリカンフットボール	1.0	0.0	0.5
ウォーキング	0.3	0.0	0.2
キックボクシング	0.3	0.0	0.2
ゴルフ	0.3	0.0	0.2
サッカー	33.4	3.1	19.8
スキー	0.3	0.4	0.4
スケート	0.0	0.4	0.2
ソフトテニス	0.3	0.0	0.2
ダブルダッチ	0.3	0.0	0.2
ダンス	0.0	4.3	1.9
チアダンス	0.0	0.8	0.4
チアリーディング	0.0	0.4	0.2
テニス	1.9	2.7	2.3
ドッチボール	5.4	3.1	4.4
ハードル走	0.3	0.4	0.4
バスケットボール	12.7	14.8	13.7
バドミントン	1.3	9.7	5.1
バレー	0.0	0.8	0.4
バレーボール	2.9	24.9	12.8
ハンドベースボール	0.6	0.0	0.4
ボクシング	0.3	0.0	0.2
マット運動	0.0	1.2	0.5
ラグビー	0.6	0.0	0.4
ランニング	0.0	0.4	0.2
リレー	0.0	1.9	0.9
外遊び	0.3	0.0	0.2
器械体操	0.0	0.4	0.2
鬼ごっこ	0.6	1.9	1.2
蟻地獄蹴った	0.0	0.4	0.2
逆立ち	0.3	0.0	0.2
空手	0.3	0.0	0.2
剣道	0.6	1.2	0.9
高跳び	0.0	0.4	0.2
柔道	0.6	0.0	0.4
水泳	6.1	10.9	8.2
走る	1.0	4.3	2.5
体操	0.3	0.8	0.5
卓球	1.6	0.4	1.1
短距離走	0.0	0.8	0.4
跳び箱	0.3	0.8	0.5
鉄棒	0.3	1.9	1.1
縄跳び	0.3	0.4	0.4
水鬼	0.0	0.4	0.2
幅跳び	0.0	0.4	0.2
野球	15.9	0.8	9.1
陸上競技	3.2	3.1	3.2
無回答	5.7	1.6	3.9
合計	100.0	100.0	100.0

運動・スポーツ活動に対する意識で「好き」「どちらかと言えば好き」と回答した者に、その具体的な種目を聞いたところ、4年生では「サッカー」が最も多く、「野球」「バレーボール」が続く。5年生でも「サッカー」が最も多く、「バスケットボール」「バレーボール」と続く（表8）。

性別では、男子児童で「サッカー」が最も多く、「野球」「バスケットボール」が続く。女子児童では「バレーボール」が最も多く、「バスケットボール」「水泳」と続く（表9）。

表10 好きな運動・スポーツ種目:評価グループ別比較 (%)

	Aグループ (n=211)	Bグループ (n=174)	Cグループ (n=182)	全体 (n=567)
アメリカンフットボール	0.9	0.0	0.5	0.5
ウォーキング	0.0	0.6	0.0	0.2
キックボクシング	0.0	0.6	0.0	0.2
ゴルフ	0.5	0.0	0.0	0.2
サッカー	20.4	17.2	22.0	19.9
スキー	0.0	1.1	0.0	0.4
スケート	0.0	0.6	0.0	0.2
ソフトテニス	0.0	0.6	0.0	0.2
ダブルダッチ	0.5	0.0	0.0	0.2
ダンス	2.4	1.1	2.2	1.9
チアダンス	0.0	1.1	0.0	0.4
チアリーディング	0.0	0.6	0.0	0.2
テニス	0.9	4.0	2.2	2.3
ドッチボール	3.8	4.0	4.9	4.2
ハードル走	0.0	0.6	0.5	0.4
バスケットボール	16.1	14.4	10.4	13.8
バドミントン	2.8	5.7	7.1	5.1
バレエ	0.0	0.0	1.1	0.4
バレーボール	12.8	12.6	11.5	12.3
ハンドベースボール	0.9	0.0	0.0	0.4
ボクシング	0.0	0.0	0.5	0.2
マット運動	0.5	0.6	0.5	0.5
ラグビー	0.0	0.6	0.5	0.4
ランニング	0.0	0.0	0.5	0.2
リレー	0.5	1.7	0.5	0.9
外遊び	0.0	0.6	0.0	0.2
器械体操	0.5	0.0	0.0	0.2
鬼ごっこ	1.4	0.6	1.6	1.2
蟻地獄蹴った	0.0	0.6	0.0	0.2
逆立ち	0.5	0.0	0.0	0.2
空手	0.5	0.0	0.0	0.2
剣道	0.5	1.7	0.5	0.9
高跳び	0.5	0.0	0.0	0.2
柔道	0.5	0.6	0.0	0.4
水泳	7.6	9.2	8.2	8.3
走る	1.9	2.3	3.3	2.5
体操	0.5	0.6	0.5	0.5
卓球	1.4	0.6	1.1	1.1
短距離走	0.0	0.0	1.1	0.4
跳び箱	0.9	0.6	0.0	0.5
鉄棒	0.9	0.6	1.6	1.1
縄跳び	0.5	0.0	0.5	0.4
氷鬼	0.0	0.6	0.0	0.2
幅跳び	0.0	0.6	0.0	0.2
野球	11.4	8.6	7.1	9.2
陸上競技	5.2	0.0	3.8	3.2
無回答	2.4	4.6	4.9	3.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

好きな運動・スポーツ種目について評価グループ別で見たところ、各グループとも「サッカー」が最も多い。次いで、Aグループ・Bグループでは「バスケットボール」が挙げられ、Cグループでは「バレーボール」が挙げられた。

表11 定期的な運動・スポーツ活動の実施状況：学年別比較 (%)

	4年生 (n=325)	5年生 (n=337)	全体 (N=662)
している	81.2	78.9	80.1
していない	18.8	21.1	19.9
合計	100.0	100.0	100.0

※定期的な運動・スポーツの実施とは、体育の授業以外で1週間に1回以上の運動・スポーツの実施を指す。 $\chi^2 = 0.55, d.f. = 1, n.s.$

現在の定期的な運動・スポーツ活動の実施状況は、4年生・5年生ともに実施している者の割合が多い。また、5年生よりも4年生の方が実施している者の割合が高い傾向にある。

表12 定期的な運動・スポーツ活動の実施状況：性別比較 (%)

	男子 (n=345)	女子 (n=316)	全体 (N=662)
している	85.8	73.7	80.1
していない	14.2	26.3	19.9
合計	100.0	100.0	100.0

※定期的な運動・スポーツの実施とは、体育の授業以外で1週間に1回以上の運動・スポーツの実施を指す。 $\chi^2 = 15.02, d.f. = 1, p < .001$

現在の定期的な運動・スポーツ活動の実施状況は、男子児童・女子児童ともに実施している者の割合が多い。また、女子児童よりも男子児童の方が実施している者の割合が多く、統計的に有意な違いが認められた。

表13 定期的な運動・スポーツ活動の実施状況：評価グループ別比較 (%)

	Aグループ (n=231)	Bグループ (n=211)	Cグループ (n=215)	全体 (N=657)
している	88.7	73.5	77.7	80.2
していない	11.3	26.5	22.3	19.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

※定期的な運動・スポーツの実施とは、体育の授業以外で1週間に1回以上の運動・スポーツの実施を指す。 $\chi^2 = 17.53, d.f. = 2, p < .001$

現在の定期的な運動・スポーツ活動の実施状況は、各グループとも実施している者の割合が多い。実施している者の割合が最も多いグループはAグループであり、統計的に有意な違いが認められた。次いでCグループが多く、Bグループが最も少ない。

表14 定期的に実施している運動・スポーツ種目：学年別比較 (%)

	4年生 (n=264)	5年生 (n=266)	全体 (N=530)
アメリカンフットボール	1.1	0.8	0.9
クラシックバレエ	0.0	0.4	0.2
ゴルフ	0.4	0.4	0.4
サッカー	20.8	13.2	17.0
ソフトボール	0.4	0.0	0.2
タグラグビー	0.8	0.0	0.4
ダブルダッチ	0.0	0.8	0.4
ダンス	3.4	1.9	2.6
チアダンス	0.0	0.4	0.2
チアリーディング	0.4	0.4	0.4
テニス	2.7	3.0	2.8
ドッチボール	0.8	1.5	1.1
トランポリン	0.0	0.4	0.2
バスケットボール	10.2	16.5	13.4
バドミントン	0.4	3.8	2.1
バレーボール	14.0	13.5	13.8
フラフープ	0.0	0.4	0.2
ブレイク	0.4	0.0	0.2
ボールを投げる	0.4	0.4	0.4
ボクシング	0.0	0.4	0.2
マット運動	0.0	0.4	0.2
マラソン	0.0	0.4	0.2
みんなと遊ぶ	0.4	0.0	0.2
ラグビー	0.0	0.8	0.4
ランニング	0.0	0.4	0.2
羽つき	0.0	0.4	0.2
駅伝	0.0	0.4	0.2
鬼ごっこ	0.8	0.8	0.8
空手	1.1	0.8	0.9
剣道	1.1	1.5	1.3
高跳び	0.8	0.0	0.4
合気道	0.0	0.4	0.2
柔道	0.8	0.8	0.8
水泳	12.5	7.5	10.0
走る	1.9	5.6	3.8
体操	2.3	1.5	1.9
卓球	0.4	0.4	0.4
短距離走	0.0	0.4	0.2
町内3周走	0.4	0.0	0.2
縄跳び	0.8	0.4	0.6
野球	9.8	3.8	6.8
陸上競技	6.1	11.3	8.7
和太鼓	0.4	0.0	0.2
無回答	4.5	4.5	4.5
合計	100.0	100.0	100.0

表15 定期的に実施している運動・スポーツ種目：性別比較 (%)

	男子 (n=297)	女子 (n=233)	全体 (N=530)
アメリカンフットボール	1.7	0.0	0.9
クラシックバレエ	0.0	0.4	0.2
ゴルフ	0.7	0.0	0.4
サッカー	28.6	2.1	17.0
ソフトボール	0.3	0.0	0.2
タグラグビー	0.7	0.0	0.4
ダブルダッチ	0.7	0.0	0.4
ダンス	0.3	5.6	2.6
チアダンス	0.0	0.4	0.2
チアリーディング	0.0	0.9	0.4
テニス	3.4	2.1	2.8
ドッチボール	2.0	0.0	1.1
トランポリン	0.0	0.4	0.2
バスケットボール	12.5	14.6	13.4
バドミントン	1.7	2.6	2.1
バレーボール	2.7	27.9	13.8
フラフープ	0.0	0.4	0.2
ブレイク	0.3	0.0	0.2
ボールを投げる	0.3	0.4	0.4
ボクシング	0.3	0.0	0.2
マット運動	0.0	0.4	0.2
マラソン	0.3	0.0	0.2
みんなと遊ぶ	0.0	0.4	0.2
ラグビー	0.7	0.0	0.4
ランニング	0.0	0.4	0.2
羽つき	0.3	0.0	0.2
駅伝	0.0	0.4	0.2
鬼ごっこ	0.0	1.7	0.8
空手	1.3	0.4	0.9
剣道	2.0	0.4	1.3
高跳び	0.0	0.9	0.4
合気道	0.0	0.4	0.2
柔道	1.3	0.0	0.8
水泳	9.1	11.2	10.0
走る	3.0	4.7	3.8
体操	1.0	3.0	1.9
卓球	0.7	0.0	0.4
短距離走	0.0	0.4	0.2
町内3周走	0.0	0.4	0.2
縄跳び	0.3	0.9	0.6
野球	11.4	0.9	6.8
陸上競技	7.4	10.3	8.7
和太鼓	0.0	0.4	0.2
無回答	4.7	4.3	4.5
合計	100.0	100.0	100.0

定期的な運動・スポーツ活動の実施状況について「している」と回答した者に、その具体的な種目を聞いたところ、4年生では「サッカー」と回答した者が最も多く、「バレーボール」「水泳」「バスケットボール」と続く。5年生では「バスケットボール」と回答した者が最も多く、「バレーボール」「サッカー」「陸上競技」と続く（表14）。

性別では、男子児童で「サッカー」と回答した者が最も多く、「バスケットボール」「野球」と続く。女子児童では「バレーボール」と回答した者が最も多く、「バスケットボール」「水泳」「陸上競技」と続く（表15）。

表16 定期的に実施している運動・スポーツ種目：評価グループ別比較 (%)

	Aグループ (n=205)	Bグループ (n=155)	Cグループ (n=167)	全体 (N=527)
アメリカンフットボール	1.5	0.0	1.2	0.9
クラシックバレエ	0.0	0.6	0.0	0.2
ゴルフ	1.0	0.0	0.0	0.4
サッカー	18.0	14.8	18.0	17.1
ソフトボール	0.0	0.6	0.0	0.2
ラグビー	0.5	0.6	0.0	0.4
ダブルダッチ	1.0	0.0	0.0	0.4
ダンス	2.9	1.9	3.0	2.7
チアダンス	0.0	0.6	0.0	0.2
チアリーディング	0.0	0.6	0.6	0.4
テニス	2.9	4.5	1.2	2.8
ドッチボール	1.5	0.6	1.2	1.1
トランポリン	0.0	0.0	0.6	0.2
バスケットボール	12.2	16.1	12.6	13.5
バドミントン	1.0	3.9	1.8	2.1
バレーボール	11.2	16.8	13.2	13.5
フラフープ	0.0	0.6	0.0	0.2
ブレイク	0.5	0.0	0.0	0.2
ボールを投げる	0.0	0.0	1.2	0.4
ボクシング	0.0	0.0	0.6	0.2
マット運動	0.5	0.0	0.0	0.2
マラソン	0.0	0.0	0.6	0.2
みんなと遊ぶ	0.0	0.0	0.6	0.2
ラグビー	0.0	0.6	0.6	0.4
ランニング	0.0	0.0	0.6	0.2
羽つき	0.5	0.0	0.0	0.2
鬼ごっこ	0.5	0.0	1.8	0.8
空手	1.5	1.3	0.0	0.9
剣道	0.5	1.9	1.8	1.3
高跳び	0.5	0.6	0.0	0.4
合気道	0.5	0.0	0.0	0.2
柔道	1.0	1.3	0.0	0.8
水泳	8.3	12.3	10.2	10.1
走る	5.4	1.9	3.6	3.8
体操	2.0	1.3	2.4	1.9
卓球	0.0	0.6	0.6	0.4
短距離走	0.0	0.0	0.6	0.2
町内3周走	0.0	0.6	0.0	0.2
縄跳び	0.5	1.3	0.0	0.6
野球	7.8	6.5	6.0	6.8
陸上競技	11.2	3.2	10.8	8.7
和太鼓	0.5	0.0	0.0	0.2
無回答	4.9	3.9	4.8	4.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

定期的に実施している運動・スポーツ種目について評価グループ別で見たところ、Aグループ・Cグループでは「サッカー」、Bグループでは「バレーボール」との回答が最も多い。

表17 体力向上プログラムに対する楽しみ度合：学年別比較 (%)

	4年生 (n=293)	5年生 (n=304)	全体 (N=597)
楽しみにしている	85.3	86.5	85.9
楽しみではない	14.7	13.5	14.1
合計	100.0	100.0	100.0

$$\chi^2 = 0.17, \text{ d.f.} = 1, \text{ n.s.}$$

体力向上プログラムに対して、4年生・5年生ともに楽しみにしている者の割合が多かった。

表18 体力向上プログラムに対する楽しみ度合：性別比較 (%)

	男子 (n=307)	女子 (n=289)	全体 (N=597)
楽しみにしている	86.0	85.8	85.9
楽しみではない	14.0	14.2	14.1
合計	100.0	100.0	100.0

$$\chi^2=0.004, d.f.=1, n.s.$$

体力向上プログラムに対して、男子児童・女子児童ともに楽しみにしている者の割合が多かった。

表19 体力向上プログラムに対する楽しみ度合：評価グループ別比較 (%)

	Aグループ (n=209)	Bグループ (n=193)	Cグループ (n=191)	全体 (N=593)
楽しみにしている	89.5	81.3	86.4	85.8
楽しみではない	10.5	18.7	13.6	14.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

$$\chi^2=5.52, d.f.=2, n.s.$$

体力向上プログラムに対して、各グループとも楽しみにしている者の割合が多かった。楽しみにしている者の割合はAグループが最も多く、以下、Cグループ、Bグループの順で多い結果であった。

表20 体力向上プログラムに対する事前期待度と事後満足度の比較

		N	期待度		満足度		t値	d.f.
			mean	S.D.	mean	S.D.		
学年別	4年生	325	4.04	1.10	4.10	1.08	1.04	324
	5年生	331	3.64	1.06	3.84	1.07	3.92	
性別	男子	341	3.92	1.07	4.00	1.11	1.64	340
	女子	315	3.76	1.13	3.93	1.05	3.49	
評価グループ別	Aグループ	229	4.06	1.00	4.17	1.01	1.93	228
	Bグループ	209	3.73	1.17	3.86	1.10	1.79	
	Cグループ	214	3.71	1.09	3.87	1.10	2.55	
全体		656	3.84	1.10	3.97	1.08	3.51	655

※期待度では「まったく期待していない」から「とても期待している」、満足度では「まったく満足していない」から「とても満足している」、までの5段階評定尺度を設定し、得られた回答を数値化し、その平均値の差の検定を行った。

体力向上プログラムに対する期待度と満足度の比較を行ったところ、学年別では、4年生・5年生ともに満足度が期待度を上回ったが、5年生において、統計的に有意な差が認められた。性別でも男子児童・女子児童ともに満足度が期待度を上回ったが、女子児童のみに

統計的に有意な差が認められた。評価グループ別では、各グループとも満足度が期待度を上回ったが、Cグループのみに統計的に有意な差が認められた。対象者全体で比較したところ、満足度が期待度を上回り、統計的に有意な差が認められた。

表21 運動・スポーツ活動に取り組む意識の変化：学年別比較 (%)

	4年生 (n=325)	5年生 (n=327)	全体 (N=652)
変わった	49.8	38.2	44.0
変わらない	50.2	61.8	56.0
合計	100.0	100.0	100.0

$$\chi^2=8.93, d.f.=1, p<.01$$

体力向上プログラムを受けて、運動・スポーツ活動に取り組む意識に変化があったのかを聞いたところ、4年生と5年生の間に統計的に有意な違いが認められた。意識が「変わった」と回答した者が4年生では49.8%、5年生では38.2%と、4年生の方が有意に多い結果であった。

表22 運動・スポーツ活動に取り組む意識の変化：性別比較 (%)

	男子 (n=340)	女子 (n=312)	全体 (N=652)
変わった	38.2	50.3	44.0
変わらない	61.8	49.7	56.0
合計	100.0	100.0	100.0

$$\chi^2=9.64, d.f.=1, p<.01$$

体力向上プログラムを受けて、運動・スポーツ活動に取り組む意識に変化があったのかを聞いたところ、男子児童と女子児童の間に統計的に有意な違いが認められた。意識が「変わった」と回答した者が男子児童で38.2%であったのに対し、女子児童では50.3%と、女子児童の方が有意に多い結果であった。

表23 運動・スポーツ活動に取り組む意識の変化：評価グループ別比較 (%)

	Aグループ (n=227)	Bグループ (n=210)	Cグループ (n=211)	全体 (N=648)
変わった	49.8	44.8	36.5	43.8
変わらない	50.2	55.2	63.5	56.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

$$\chi^2=7.95, d.f.=2, p<.05$$

体力向上プログラムを受けて、運動・スポーツ活動に取り組む意識に変化があったのかを聞いたところ、グループ間に統計的に有意な違いが認められた。意識が「変わった」と

回答した者の割合は、Aグループが他のグループよりも有意に多く、Bグループ、Cグループの順であった。

表24 運動の楽しさに関するプログラム前後比較:4年生

項目	N	プログラム前		プログラム後		t値	d.f.
		mean	S.D.	mean	S.D.		
汗をかくほど運動すること	326	2.64	0.56	2.59	0.57	1.79	325
記録や順位を競い合うこと	327	2.48	0.72	2.45	0.73	0.94	326
苦しい練習にたえること	322	2.34	0.74	2.22	0.74	3.08	321 <i>p<.001</i>
運動の中で、みんなと笑いあえること	326	2.88	0.37	2.87	0.38	0.39	325
ときどき遊べること	326	2.78	0.51	2.79	0.51	0.36	325
自分たちで計画して運動すること	326	2.51	0.60	2.48	0.60	0.62	325
スピード感を味わうこと	323	2.54	0.61	2.59	0.60	1.33	322
人から応援してもらうこと	323	2.76	0.51	2.73	0.52	1.08	322
人ができないことが、自分にできること	324	2.61	0.57	2.60	0.60	0.27	323
記録や順位が向上すること	324	2.77	0.51	2.83	0.44	1.86	323
何度でも何度でも、できるまで練習すること	322	2.53	0.63	2.49	0.63	1.16	321
スリル感を味わうこと	322	2.48	0.66	2.53	0.63	1.21	321
みんなから拍手されること	324	2.66	0.57	2.66	0.56	0.09	323
運動後、気分がさっぱりすること	319	2.71	0.55	2.72	0.52	0.09	318
試合で勝利感を味わうこと	322	2.87	0.41	2.89	0.37	0.74	321
先生や他の人にほめられること	320	2.78	0.46	2.72	0.52	2.12	319 <i>p<.05</i>
人の運動を応援すること	321	2.71	0.54	2.69	0.56	0.34	320
できないことに挑戦すること	327	2.65	0.55	2.58	0.61	2.20	326 <i>p<.05</i>
苦しいことや辛いことを、最後までやりぬくこと	326	2.47	0.65	2.44	0.71	0.94	325
運動の中で、みんなと「はしゃぐ」こと	321	2.72	0.52	2.73	0.50	0.36	320
目標を作って、それに向かって練習すること	327	2.65	0.55	2.59	0.61	1.68	326
運動によって、何かを新しく発見すること	327	2.62	0.57	2.70	0.53	2.34	326 <i>p<.05</i>
今までできなかったことが、できるようになること	326	2.93	0.31	2.94	0.29	0.63	325
試合で勝つこと	326	2.89	0.38	2.89	0.35	0.13	325
すばらしいプレーが、できるようになること	326	2.83	0.45	2.87	0.40	1.15	325
人より良い記録を作ること	324	2.74	0.52	2.74	0.51	0.00	323
身体の調子が良くなること	320	2.79	0.47	2.84	0.40	1.57	319
健康な身体になること	322	2.85	0.41	2.87	0.38	0.87	321
人の運動を見ること	325	2.51	0.64	2.54	0.63	0.94	324
いろんな運動がみんなより、早くできるようになること	324	2.63	0.59	2.68	0.55	1.28	323

※「楽しくない」から「楽しい」までの3段階評定尺度を設定し、得られた回答を数値化し、その平均値の差の検定を行った。

運動の楽しさに関する質問 30 項目をプログラム前後で比較したところ、4年生では、4項目で有意な差が認められた。運動の楽しさに関して「運動によって、何かを新しく発見すること」が有意な上昇を示し、「苦しい練習にたえること」、「先生や他の人にほめられること」、「できないことに挑戦すること」の3項目で有意な低下を示した。

表25 運動の楽しさに関するプログラム前後比較:5年生

項目	N	プログラム前		プログラム後		t値	d.f.	
		mean	S.D.	mean	S.D.			
汗をかくほど運動すること	336	2.58	0.58	2.51	0.62	1.97	335	
記録や順位を競い合うこと	334	2.37	0.71	2.37	0.73	0.22	333	
苦しい練習にたえること	330	2.15	0.75	2.16	0.73	0.32	329	
運動の中で、みんなと笑いあえること	335	2.92	0.29	2.86	0.41	2.71	334	$p<.01$
ときどき遊べること	333	2.77	0.51	2.78	0.52	0.17	332	
自分たちで計画して運動すること	332	2.49	0.58	2.49	0.60	0.16	331	
スピード感を味わうこと	331	2.46	0.64	2.53	0.61	1.92	330	
人から応援してもらうこと	329	2.73	0.52	2.62	0.61	3.00	328	$p<.001$
人ができないことが、自分にできること	335	2.53	0.58	2.59	0.61	1.51	334	
記録や順位が向上すること	326	2.79	0.48	2.81	0.47	0.58	325	
何度でも何度でも、できるまで練習すること	332	2.48	0.64	2.42	0.64	1.36	331	
スリル感を味わうこと	332	2.41	0.63	2.42	0.67	0.16	331	
みんなから拍手されること	333	2.58	0.59	2.53	0.63	1.26	332	
運動後、気分がさっぱりすること	332	2.74	0.50	2.72	0.54	0.57	331	
試合で勝利感を味わうこと	327	2.85	0.42	2.80	0.46	1.56	326	
先生や他の人にもめられること	330	2.64	0.55	2.62	0.60	0.56	329	
人の運動を応援すること	332	2.73	0.51	2.66	0.56	2.12	331	$p<.05$
できないことに挑戦すること	336	2.59	0.58	2.54	0.60	1.45	335	
苦しいことや辛いことを、最後までやりぬくこと	335	2.50	0.62	2.41	0.66	2.29	334	$p<.05$
運動の中で、みんなと「はしゃぐ」こと	332	2.55	0.65	2.59	0.60	0.87	331	
目標を作って、それに向かって練習すること	334	2.62	0.55	2.60	0.58	0.52	333	
運動によって、何かを新しく発見すること	336	2.64	0.57	2.64	0.55	0.00	335	
今までできなかったことが、できるようになること	331	2.91	0.32	2.87	0.39	1.46	330	
試合で勝つこと	331	2.85	0.40	2.84	0.41	0.44	330	
すばらしいプレーが、できるようになること	329	2.83	0.42	2.81	0.45	0.63	328	
人より良い記録を作ること	331	2.63	0.57	2.66	0.53	0.70	330	
身体の調子が良くなること	333	2.77	0.47	2.73	0.49	1.20	332	
健康な身体になること	333	2.79	0.45	2.78	0.46	0.30	332	
人の運動を見ること	328	2.53	0.64	2.56	0.59	0.69	327	
いろんな運動がみんなより、早くできるようになること	332	2.57	0.60	2.57	0.59	0.08	331	

※「楽しくない」から「楽しい」までの3段階評定尺度を設定し、得られた回答を数値化し、その平均値の差の検定を行った。

運動の楽しさに関する質問 30 項目をプログラム前後で比較したところ、5年生では、「運動の中で、みんなと笑いあえること」、「人から応援してもらうこと」、「人の運動を応援すること」、「苦しいことや辛いことを最後までやりぬくこと」の4項目で統計的に有意な低下を示した。

表26 運動の楽しさに関するプログラム前後比較: 男子

項目	N	プログラム前		プログラム後		t値	d.f.	
		mean	S.D.	mean	S.D.			
汗をかくほど運動すること	345	2.71	0.51	2.63	0.56	2.47	344	$p < .01$
記録や順位を競い合うこと	344	2.51	0.67	2.49	0.70	0.54	343	
苦しい練習にたえること	342	2.34	0.73	2.26	0.73	2.17	341	$p < .05$
運動の中で、みんなと笑いあえること	346	2.89	0.33	2.84	0.42	2.30	345	$p < .05$
ときどき遊べること	344	2.77	0.53	2.73	0.56	1.04	343	
自分たちで計画して運動すること	344	2.50	0.57	2.49	0.60	0.15	343	
スピード感を味わうこと	340	2.56	0.62	2.65	0.57	2.43	339	$p < .05$
人から応援してもらうこと	342	2.67	0.58	2.61	0.61	1.72	341	
人ができないことが、自分にできること	345	2.56	0.59	2.57	0.64	0.41	344	
記録や順位が向上すること	339	2.78	0.50	2.81	0.47	0.93	338	
何度でも何度でも、できるまで練習すること	340	2.50	0.65	2.42	0.66	2.01	339	$p < .05$
スリル感を味わうこと	341	2.54	0.62	2.54	0.64	0.15	340	
みんなから拍手されること	343	2.54	0.63	2.55	0.64	0.31	342	
運動後、気分がさっぱりすること	339	2.75	0.51	2.72	0.53	0.91	338	
試合で勝利感を味わうこと	340	2.87	0.41	2.85	0.43	0.71	339	
先生や他の人にほめられること	339	2.63	0.56	2.63	0.61	0.27	338	
人の運動を応援すること	344	2.68	0.56	2.58	0.61	2.47	343	$p < .01$
できないことに挑戦すること	346	2.64	0.57	2.58	0.60	1.57	345	
苦しいことや辛いことを、最後までやりぬくこと	345	2.50	0.63	2.43	0.67	2.03	344	$p < .05$
運動の中で、みんなと「はしゃぐ」こと	341	2.62	0.60	2.61	0.59	0.08	340	
目標を作って、それに向かって練習すること	346	2.61	0.58	2.58	0.60	0.89	345	
運動によって、何かを新しく発見すること	346	2.68	0.54	2.70	0.53	0.63	345	
今までできなかったことが、できるようになること	342	2.90	0.35	2.89	0.36	0.26	341	
試合で勝つこと	340	2.88	0.38	2.88	0.36	0.11	339	
すばらしいプレーが、できるようになること	342	2.84	0.42	2.84	0.45	0.00	341	
人より良い記録を作ること	339	2.70	0.55	2.72	0.51	0.65	338	
身体の調子が良くなること	339	2.80	0.46	2.78	0.46	0.78	338	
健康な身体になること	341	2.84	0.42	2.82	0.44	0.61	340	
人の運動を見ること	338	2.51	0.67	2.49	0.64	0.30	337	
いろんな運動がみんなより、早くできるようになること	339	2.57	0.61	2.60	0.60	0.82	338	

※「楽しくない」から「楽しい」までの3段階評定尺度を設定し、得られた回答を数値化し、その平均値の差の検定を行った。

運動の楽しさに関する質問 30 項目をプログラム前後で比較したところ、男子児童では、7 項目で統計的に有意な差が認められた。「スピード感を味わうこと」の 1 項目で有意な上昇を示し、「汗をかくほど運動すること」、「苦しい練習にたえること」、「運動の中で、みんなと笑いあえること」、「何度でも、何度でも、できるまで練習すること」、「人の運動を応援すること」、「苦しいことや辛いことを、最後までやりぬくこと」の 6 項目で有意な低下を示した。

表27 運動の楽しさに関するプログラム前後比較: 女子

項目	N	プログラム前		プログラム後		t値	d.f.
		mean	S.D.	mean	S.D.		
汗をかくほど運動すること	317	2.51	0.62	2.46	0.62	1.32	316
記録や順位を競い合うこと	317	2.33	0.76	2.31	0.75	0.58	316
苦しい練習にたえること	310	2.13	0.77	2.11	0.73	0.56	309
運動の中で、みんなと笑いあえること	315	2.91	0.34	2.89	0.36	0.79	314
ときどき遊べること	315	2.79	0.49	2.85	0.45	1.94	314
自分たちで計画して運動すること	314	2.50	0.62	2.47	0.59	0.67	313
スピード感を味わうこと	314	2.43	0.63	2.46	0.63	0.75	313
人から応援してもらうこと	310	2.83	0.42	2.75	0.52	2.68	309 <i>p<.01</i>
人ができないことが、自分にできること	314	2.59	0.56	2.62	0.56	0.95	313
記録や順位が向上すること	311	2.78	0.50	2.83	0.44	1.54	310
何度でも何度でも、できるまで練習すること	314	2.51	0.62	2.50	0.61	0.43	313
スリル感を味わうこと	313	2.35	0.66	2.40	0.65	1.29	312
みんなから拍手されること	314	2.70	0.52	2.64	0.56	1.83	313
運動後、気分がさっぱりすること	312	2.70	0.53	2.72	0.53	0.46	311
試合で勝利感を味わうこと	309	2.85	0.42	2.84	0.41	0.35	308
先生や他の人にほめられること	311	2.79	0.44	2.72	0.50	2.61	310 <i>p<.01</i>
人の運動を応援すること	309	2.76	0.48	2.78	0.48	0.40	308
できないことに挑戦すること	317	2.61	0.56	2.53	0.61	2.10	316 <i>p<.05</i>
苦しいことや辛いことを、最後までやりぬくこと	316	2.47	0.63	2.43	0.69	1.25	315
運動の中で、みんなと「はしゃぐ」こと	312	2.66	0.60	2.71	0.52	1.42	311
目標を作って、それに向かって練習すること	315	2.66	0.53	2.61	0.58	1.32	314
運動によって、何かを新しく発見すること	317	2.58	0.59	2.64	0.55	1.72	316
今までできなかったことが、できるようになること	315	2.94	0.28	2.92	0.34	0.87	314
試合で勝つこと	317	2.86	0.41	2.85	0.40	0.25	316
すばらしいプレーが、できるようになること	313	2.82	0.46	2.83	0.41	0.45	312
人より良い記録を作ること	316	2.67	0.55	2.67	0.54	0.09	315
身体の調子が良くなること	314	2.76	0.48	2.79	0.45	0.94	313
健康な身体になること	314	2.80	0.45	2.83	0.40	1.20	313
人の運動を見ること	315	2.53	0.60	2.61	0.57	1.98	314
いろんな運動がみんなより、早くできるようになること	317	2.63	0.58	2.64	0.53	0.28	316

※「楽しくない」から「楽しい」までの3段階評定尺度を設定し、得られた回答を数値化し、その平均値の差の検定を行った。

運動の楽しさに関する質問 30 項目をプログラム前後で比較したところ、女子児童では、「人から応援してもらうこと」、「先生や他の人にほめられること」、「できないことに挑戦すること」の 3 項目で統計的に有意な低下を示した。

表28 運動の楽しさに関するプログラム前後比較:Aグループ

項目	N	プログラム前		プログラム後		t 値	d.f.	
		mean	S.D.	mean	S.D.			
汗をかくほど運動すること	230	2.71	0.52	2.68	0.51	0.78	229	
記録や順位を競い合うこと	230	2.50	0.69	2.54	0.68	0.79	229	
苦しい練習にたえること	228	2.37	0.72	2.32	0.71	1.21	227	
運動の中で、みんなと笑いあえること	232	2.91	0.31	2.89	0.34	1.00	231	
ときどき遊べること	230	2.79	0.51	2.79	0.49	0.11	229	
自分たちで計画して運動すること	232	2.51	0.59	2.60	0.56	1.95	231	
スピード感を味わうこと	231	2.61	0.55	2.69	0.53	1.85	230	
人から応援してもらうこと	231	2.78	0.47	2.70	0.55	2.21	230	<i>p</i> <.05
人ができないことが、自分にできること	231	2.58	0.59	2.64	0.58	1.45	230	
記録や順位が向上すること	228	2.78	0.48	2.87	0.38	2.45	227	<i>p</i> <.01
何度でも何度でも、できるまで練習すること	228	2.54	0.62	2.54	0.60	0.10	227	
スリル感を味わうこと	230	2.50	0.63	2.62	0.55	2.57	229	<i>p</i> <.01
みんなから拍手されること	230	2.57	0.61	2.62	0.59	1.24	229	
運動後、気分がさっぱりすること	227	2.72	0.54	2.75	0.48	0.82	226	
試合で勝利感を味わうこと	224	2.88	0.37	2.91	0.33	1.24	223	
先生や他の人にほめられること	226	2.69	0.51	2.66	0.57	0.68	225	
人の運動を応援すること	227	2.71	0.55	2.69	0.57	0.53	226	
できないことに挑戦すること	231	2.70	0.54	2.68	0.52	0.47	230	
苦しいことや辛いことを、最後までやりぬくこと	231	2.55	0.62	2.52	0.63	0.87	230	
運動の中で、みんなと「はしゃぐ」こと	226	2.57	0.62	2.65	0.55	1.91	225	
目標を作って、それに向かって練習すること	229	2.68	0.54	2.68	0.55	0.00	228	
運動によって、何かを新しく発見すること	232	2.69	0.53	2.72	0.52	0.62	231	
今までできなかったことが、できるようになること	231	2.91	0.34	2.94	0.27	1.22	230	
試合で勝つこと	230	2.88	0.33	2.90	0.33	0.58	229	
すばらしいプレーが、できるようになること	229	2.86	0.36	2.87	0.36	0.43	228	
人より良い記録を作ること	229	2.72	0.45	2.77	0.45	1.31	228	
身体の調子が良くなること	229	2.79	0.40	2.82	0.40	0.76	228	
健康な身体になること	231	2.82	0.38	2.84	0.38	0.70	230	
人の運動を見ること	227	2.54	0.59	2.58	0.59	0.85	226	
いろんな運動がみんなより、早くできるようになること	228	2.61	0.51	2.70	0.51	2.27	227	<i>p</i> <.05

※「楽しくない」から「楽しい」までの3段階評定尺度を設定し、得られた回答を数値化し、その平均値の差の検定を行った。

運動の楽しさに関する質問30項目をプログラム前後で比較したところ、Aグループでは、4項目で統計的に有意な差が認められた。「記録や順位が向上すること」、「スリル感を味わうこと」、「いろんな運動がみんなより、早くできるようになること」の3項目で有意な上昇を示し、「人から応援してもらうこと」の1項目で有意な低下を示した。

表29 運動の楽しさに関するプログラム前後比較: Bグループ

項目	N	プログラム前		プログラム後		t 値	d.f.	
		mean	S.D.	mean	S.D.			
汗をかくほど運動すること	212	2.55	0.61	2.43	0.64	2.53	211	$p < .01$
記録や順位を競い合うこと	212	2.36	0.73	2.33	0.74	0.60	211	
苦しい練習にたえること	208	2.19	0.75	2.09	0.72	2.07	207	$p < .05$
運動の中で、みんなと笑いあえること	211	2.88	0.38	2.82	0.46	1.61	210	
ときどき遊べること	212	2.77	0.52	2.75	0.55	0.31	211	
自分たちで計画して運動すること	209	2.50	0.58	2.44	0.60	1.19	208	
スピード感を味わうこと	206	2.41	0.65	2.45	0.65	0.82	205	
人から応援してもらうこと	207	2.72	0.55	2.68	0.58	1.04	206	
人ができないことが、自分にできること	210	2.53	0.57	2.54	0.63	0.10	209	
記録や順位が向上すること	207	2.73	0.56	2.80	0.49	1.79	206	
何度でも何度でも、できるまで練習すること	209	2.50	0.63	2.40	0.67	1.94	208	
スリル感を味わうこと	205	2.45	0.63	2.36	0.70	1.87	204	
みんなから拍手されること	209	2.68	0.55	2.60	0.63	1.77	208	
運動後、気分がさっぱりすること	208	2.75	0.52	2.68	0.59	1.47	207	
試合で勝利感を味わうこと	206	2.84	0.46	2.81	0.46	0.94	205	
先生や他の人にほめられること	209	2.73	0.52	2.64	0.60	2.21	208	$p < .05$
人の運動を応援すること	209	2.73	0.52	2.66	0.60	1.71	208	
できないことに挑戦すること	212	2.54	0.59	2.47	0.61	1.40	211	
苦しいことや辛いことを、最後までやりぬくこと	212	2.45	0.63	2.38	0.71	1.54	211	
運動の中で、みんなと「はしゃぐ」こと	210	2.65	0.60	2.64	0.60	0.10	209	
目標を作って、それに向かって練習すること	212	2.61	0.55	2.55	0.61	1.32	211	
運動によって、何かを新しく発見すること	211	2.60	0.60	2.66	0.55	1.46	210	
今までできなかったことが、できるようになること	209	2.91	0.31	2.88	0.41	1.27	208	
試合で勝つこと	209	2.86	0.41	2.87	0.39	0.43	208	
すばらしいプレーが、できるようになること	207	2.83	0.45	2.84	0.44	0.25	206	
人より良い記録を作ること	207	2.62	0.58	2.64	0.56	0.56	206	
身体の調子が良くなること	207	2.79	0.47	2.76	0.51	0.58	206	
健康な身体になること	209	2.80	0.44	2.82	0.47	0.37	208	
人の運動を見ること	207	2.45	0.65	2.51	0.63	1.11	206	
いろんな運動がみんなより、早くできるようになること	210	2.58	0.60	2.54	0.61	0.96	209	

※「楽しくない」から「楽しい」までの3段階評定尺度を設定し、得られた回答を数値化し、その平均値の差の検定を行った。

運動の楽しさに関する質問30項目をプログラム前後で比較したところ、Bグループでは、「汗をかくほど運動すること」、「苦しい練習にたえること」、「先生や他の人にほめられること」の3項目で統計的に有意な低下を示した。

表30 運動の楽しさに関するプログラム前後比較:Cグループ

項目	N	プログラム前		プログラム後		t 値	d.f.
		mean	S.D.	mean	S.D.		
汗をかくほど運動すること	215	2.58	0.57	2.53	0.60	1.27	214
記録や順位を競い合うこと	214	2.42	0.74	2.35	0.76	1.52	213
苦しい練習にたえること	212	2.16	0.78	2.14	0.76	0.40	211
運動の中で、みんなと笑いあえること	213	2.91	0.30	2.87	0.39	1.57	212
ときどき遊べること	212	2.79	0.47	2.81	0.51	0.46	211
自分たちで計画して運動すること	212	2.50	0.60	2.41	0.61	2.09	211 <i>p<.05</i>
スピード感を味わうこと	212	2.48	0.64	2.54	0.62	1.20	211
人から応援してもらうこと	209	2.73	0.52	2.65	0.58	1.90	208
人ができないことが、自分にできること	213	2.61	0.57	2.60	0.60	0.22	212
記録や順位が向上すること	211	2.84	0.43	2.78	0.50	1.44	210
何度でも何度でも、できるまで練習すること	212	2.49	0.64	2.43	0.65	1.35	211
スリル感を味わうこと	214	2.39	0.67	2.43	0.67	0.70	213
みんなから拍手されること	213	2.61	0.58	2.56	0.59	1.27	212
運動後、気分がさっぱりすること	211	2.73	0.49	2.73	0.50	0.12	210
試合で勝利感を味わうこと	214	2.86	0.43	2.81	0.46	1.32	213
先生や他の人にほめられること	210	2.73	0.51	2.71	0.51	0.58	209
人の運動を応援すること	212	2.71	0.50	2.67	0.52	0.73	211
できないことに挑戦すること	215	2.64	0.55	2.52	0.65	2.60	214 <i>p<.01</i>
苦しいことや辛いことを、最後までやりぬくこと	213	2.47	0.63	2.38	0.71	1.87	212
運動の中で、みんなと「はしゃぐ」こと	212	2.70	0.56	2.68	0.53	0.44	211
目標を作って、それに向かって練習すること	215	2.62	0.56	2.56	0.62	1.53	214
運動によって、何かを新しく発見すること	215	2.61	0.56	2.63	0.56	0.41	214
今までできなかったことが、できるようになること	212	2.93	0.28	2.90	0.36	1.22	211
試合で勝つこと	213	2.87	0.38	2.82	0.42	1.68	212
すばらしいプレーが、できるようになること	214	2.81	0.45	2.80	0.48	0.41	213
人より良い記録を作ること	214	2.72	0.53	2.67	0.54	1.39	213
身体の調子が良くなること	212	2.78	0.46	2.77	0.44	0.13	211
健康な身体になること	210	2.84	0.42	2.82	0.42	0.56	209
人の運動を見ること	214	2.57	0.60	2.55	0.61	0.51	213
いろんな運動がみんなより、早くできるようになること	213	2.62	0.62	2.62	0.58	0.11	212

※「楽しくない」から「楽しい」までの3段階評定尺度を設定し、得られた回答を数値化し、その平均値の差の検定を行った。

運動の楽しさに関する質問 30 項目をプログラム前後で比較したところ、Cグループでは、「自分たちで計画して運動すること」、「できないことに挑戦すること」の2項目で統計的に有意な低下を示した。

表31 運動の楽しさに関するプログラム前後比較: 全体

項目	N	プログラム前		プログラム後		t値	d.f.	
		mean	S.D.	mean	S.D.			
汗をかくほど運動すること	662	2.61	0.57	2.55	0.59	2.67	661	<i>p</i> <.01
記録や順位を競い合うこと	661	2.43	0.72	2.41	0.73	0.80	660	
苦しい練習にたえること	652	2.24	0.76	2.19	0.73	1.95	651	
運動の中で、みんなと笑いあえること	661	2.90	0.33	2.86	0.40	2.20	660	<i>p</i> <.05
ときどき遊べること	659	2.78	0.51	2.79	0.51	0.38	658	
自分たちで計画して運動すること	658	2.50	0.59	2.48	0.60	0.56	657	
スピード感を味わうこと	654	2.50	0.63	2.56	0.61	2.29	653	<i>p</i> <.05
人から応援してもらうこと	652	2.75	0.51	2.68	0.57	3.02	651	<i>p</i> <.001
人ができないことが、自分にできること	659	2.57	0.58	2.59	0.60	0.95	658	
記録や順位が向上すること	650	2.78	0.50	2.82	0.46	1.72	649	
何度でも何度でも、できるまで練習すること	654	2.50	0.64	2.46	0.64	1.78	653	
スリル感を味わうこと	654	2.45	0.65	2.47	0.65	1.00	653	
みんなから拍手されること	657	2.62	0.58	2.60	0.60	0.90	656	
運動後、気分がさっぱりすること	651	2.73	0.52	2.72	0.53	0.32	650	
試合で勝利感を味わうこと	649	2.86	0.42	2.84	0.42	0.76	648	
先生や他の人にほめられること	650	2.71	0.51	2.67	0.56	1.82	649	
人の運動を応援すること	653	2.72	0.52	2.68	0.56	1.71	652	
できないことに挑戦すること	663	2.62	0.57	2.56	0.60	2.58	662	<i>p</i> <.01
苦しいことや辛いことを、最後までやりぬくこと	661	2.49	0.63	2.43	0.68	2.33	660	<i>p</i> <.05
運動の中で、みんなと「はしゃぐ」こと	653	2.64	0.60	2.66	0.56	0.89	652	
目標を作って、それに向かって練習すること	661	2.63	0.55	2.60	0.59	1.54	660	
運動によって、何かを新しく発見すること	663	2.63	0.57	2.67	0.54	1.61	662	
今までできなかったことが、できるようになること	657	2.92	0.32	2.91	0.35	0.77	656	
試合で勝つこと	657	2.87	0.39	2.86	0.38	0.25	656	
すばらしいプレーが、できるようになること	655	2.83	0.44	2.84	0.43	0.31	654	
人より良い記録を作ること	655	2.69	0.55	2.70	0.52	0.53	654	
身体の調子が良くなること	653	2.78	0.47	2.78	0.45	0.07	652	
健康な身体になること	655	2.82	0.43	2.82	0.42	0.31	654	
人の運動を見ること	653	2.52	0.64	2.55	0.61	1.15	652	
いろんな運動がみんなより、早くできるようになること	656	2.60	0.60	2.62	0.57	0.81	655	

※「楽しくない」から「楽しい」までの3段階評定尺度を設定し、得られた回答を数値化し、その平均値の差の検定を行った。

運動の楽しさに関する質問 30 項目をプログラム前後で比較したところ、全体では、6 項目で統計的に有意な差が認められた。「スピード感を味わうこと」の 1 項目で有意な上昇を示し、「汗をかくほど運動すること」、「運動の中で、みんなと笑いあえること」、「人から応援してもらうこと」、「できないことに挑戦すること」、「苦しいことや辛いことを、最後までやりぬくこと」の 5 項目で有意な低下を示した。

(2) 分析結果 (改善の有無による比較)

表32 自身の体力に対する意識 (％)

	改善群		非改善群	
	プログラム前 (n=348)	プログラム後 (n=348)	プログラム前 (n=74)	プログラム後 (n=74)
とてもあると思う	11.5	10.9	12.2	4.1
少しあると思う	30.5	33.3	31.1	27.0
普通だと思う	39.9	39.1	37.8	50.0
あまりないと思う	16.4	12.4	16.2	14.9
全くないと思う	1.7	4.3	2.7	4.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

$\chi^2=6.35, d.f.=4, n.s.$ $\chi^2=4.70, d.f.=4, n.s.$

指導プログラムを受けた後、記録が向上した者を改善群、記録に変化がなかった者、および記録の向上が見られなかった者を非改善群として、それぞれの自身の体力に対する意識についてプログラム前後で比較した。改善群ではプログラム前後で、自身の体力について「ない」と認識している者（「あまりないと思う」「全くないと思う」と回答した者）の割合が減少傾向にある。非改善群では、自身の体力について「ある」と認識している者の割合が減少傾向にある。

表33 運動・スポーツ活動に対する意識 (％)

	改善群		非改善群	
	プログラム前 (n=349)	プログラム後 (n=338)	プログラム前 (n=73)	プログラム後 (n=69)
好き	61.9	64.5	61.6	59.4
どちらかと言えば好き	27.2	27.2	23.3	30.4
どちらかと言えば嫌い	8.9	7.4	9.6	8.7
嫌い	2.0	0.9	5.5	1.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

$\chi^2=2.13, d.f.=3, n.s.$ $\chi^2=2.37, d.f.=3, n.s.$

運動・スポーツ活動に対する意識は、改善群・非改善群ともに肯定的な意見をもっており、プログラム後においてもその傾向は変わらないが、改善群が微増を示したのに対し、非改善群では微減を示した。

表34 定期的な運動・スポーツ活動の実施状況 (％)

	改善群 (n=350)	非改善群 (n=74)
している	85.4	77.0
していない	14.6	23.0
合計	100.0	100.0

※定期的な運動・スポーツの実施とは、体育の授業以外で1週間に1回以上の運動・スポーツの実施を指す。
 $\chi^2=3.20, d.f.=1, n.s.$

現在の定期的な運動・スポーツ活動の実施状況は、改善群・非改善群ともに実施している者の方が多いが、非改善群よりも改善群の方が多い割合を示した。

表35 体力向上プログラムに対する楽しみ度合 (%)

	改善群 (n=312)	非改善群 (n=68)
楽しみにしている	88.8	82.4
楽しみではない	11.2	17.6
合計	100.0	100.0

$\chi^2=2.13, d.f.=1, n.s.$

体力向上プログラムに対して、改善群・非改善群ともに楽しみにしていた者の割合が多いが、非改善群よりも改善群の方がその割合が多い。

表36 体力向上プログラムに対する事前期待度と事後満足度の比較

改善区分	N	期待度		満足度		t 値	d.f.	
		mean	S.D.	mean	S.D.			
改善群	348	3.92	1.06	4.11	1.01	3.87	347	$p<.001$
非改善群	74	3.86	1.08	3.82	1.16	0.46	73	

※期待度では「まったく期待していない」から「とても期待している」、満足度では「まったく満足していない」から「とても満足している」、までの5段階評定尺度を設定し、得られた回答を数値化し、その平均値の差の検定を行った。

体力向上プログラムに対する期待度と満足度の比較を行ったところ、改善群では満足度が期待度を上回り、統計的に有意な差が認められた。非改善群では、満足度が期待度を下回る結果であった。

表37 運動・スポーツ活動に取り組む意識の変化 (%)

	改善群 (n=345)	非改善群 (n=73)
変わった	45.8	39.7
変わらない	54.2	60.3
合計	100.0	100.0

$\chi^2=0.90, d.f.=1, n.s.$

体力向上プログラムを受けて、運動・スポーツ活動に取り組む意識に変化があったのかを聞いたところ、意識が「変わった」と回答した者が改善群では45.8%、非改善群では39.7%と、改善群の方が多い割合を示した。

表38 運動の楽しさに関するプログラム前後比較:改善群

項目	N	プログラム前		プログラム後		t値	d.f.	
		mean	S.D.	mean	S.D.			
汗をかくほど運動すること	351	2.64	0.56	2.63	0.56	0.46	350	
記録や順位を競い合うこと	351	2.45	0.72	2.46	0.72	0.31	350	
苦しい練習にたえること	348	2.26	0.77	2.24	0.74	0.60	347	
運動の中で、みんなと笑いあえること	350	2.91	0.31	2.89	0.34	0.69	349	
ときどき遊べること	349	2.79	0.48	2.82	0.49	0.95	348	
自分たちで計画して運動すること	351	2.51	0.60	2.51	0.59	0.07	350	
スピード感を味わうこと	350	2.54	0.61	2.62	0.56	2.27	349	<i>p</i> <.05
人から応援してもらうこと	348	2.77	0.49	2.70	0.56	2.33	347	<i>p</i> <.05
人ができないことが、自分にできること	349	2.62	0.57	2.63	0.58	0.32	348	
記録や順位が向上すること	346	2.81	0.45	2.84	0.42	1.04	345	
何度でも何度でも、できるまで練習すること	347	2.50	0.62	2.48	0.62	0.57	346	
スリル感を味わうこと	349	2.46	0.65	2.55	0.59	2.37	348	<i>p</i> <.05
みんなから拍手されること	348	2.60	0.60	2.64	0.58	0.93	347	
運動後、気分がさっぱりすること	343	2.73	0.52	2.75	0.48	0.69	342	
試合で勝利感を味わうこと	343	2.87	0.38	2.87	0.38	0.12	342	
先生や他の人にほめられること	341	2.72	0.51	2.70	0.54	0.70	340	
人の運動を応援すること	345	2.71	0.53	2.71	0.52	0.09	344	
できないことに挑戦すること	351	2.66	0.54	2.60	0.59	1.84	350	
苦しいことや辛いことを、最後までやりぬくこと	350	2.53	0.62	2.53	0.66	1.64	349	
運動の中で、みんなと「はしゃぐ」こと	344	2.64	0.60	2.68	0.53	1.10	343	
目標を作って、それに向かって練習すること	350	2.66	0.54	2.63	0.56	1.08	349	
運動によって、何かを新しく発見すること	352	2.65	0.56	2.68	0.53	0.86	351	
今までできなかったことが、できるようになること	350	2.93	0.30	2.94	0.29	0.42	349	
試合で勝つこと	349	2.89	0.37	2.88	0.36	0.25	348	
すばらしいプレーが、できるようになること	349	2.86	0.40	2.85	0.40	0.12	348	
人より良い記録を作ること	348	2.74	0.52	2.74	0.48	0.00	347	
身体の調子が良くなること	348	2.79	0.47	2.80	0.41	0.59	347	
健康な身体になること	349	2.83	0.42	2.84	0.38	0.33	348	
人の運動を見ること	348	2.55	0.64	2.59	0.58	1.18	347	
いろんな運動がみんなより、早くできるようになること	346	2.65	0.57	2.67	0.53	0.74	345	

※「楽しくない」から「楽しい」までの3段階評定尺度を設定し、得られた回答を数値化し、その平均値の差の検定を行った。

運動の楽しさに関する質問 30 項目をプログラム前後で比較したところ、改善群では、2 項目で統計的に有意な上昇を、1 項目で有意な低下が認められた。「スピード感を味わうこと」、「スリル感を味わうこと」で有意な上昇を示し、「人から応援してもらうこと」で有意な低下を示した。

表39 運動の楽しさに関するプログラム前後比較: 非改善群

項目	N	プログラム前		プログラム後		t値	d.f.
		mean	S.D.	mean	S.D.		
汗をかくほど運動すること	72	2.65	0.54	2.56	0.55	1.31	71
記録や順位を競い合うこと	73	2.51	0.69	2.38	0.76	1.42	72
苦しい練習にたえること	73	2.33	0.71	2.18	0.73	1.84	72
運動の中で、みんなと笑いあえること	74	2.91	0.34	2.86	0.38	1.35	73
ときどき遊べること	73	2.71	0.61	2.71	0.54	0.00	71
自分たちで計画して運動すること	72	2.50	0.56	2.57	0.62	0.96	71
スピード感を味わうこと	73	2.59	0.57	2.62	0.62	0.42	72
人から応援してもらうこと	72	2.72	0.48	2.67	0.56	0.89	71
人ができないことが、自分にできること	74	2.49	0.60	2.61	0.62	1.91	73
記録や順位が向上すること	73	2.79	0.50	2.78	0.53	0.21	72
何度でも何度でも、できるまで練習すること	74	2.57	0.64	2.47	0.67	1.19	73
スリル感を味わうこと	74	2.39	0.68	2.46	0.65	0.90	73
みんなから拍手されること	73	2.52	0.58	2.49	0.60	0.42	72
運動後、気分がさっぱりすること	73	2.71	0.49	2.71	0.49	0.00	71
試合で勝利感を味わうこと	73	2.84	0.44	2.85	0.43	0.23	72
先生や他の人にもめられること	74	2.70	0.52	2.66	0.53	0.65	73
人の運動を応援すること	72	2.68	0.53	2.61	0.57	0.90	71
できないことに挑戦すること	74	2.70	0.54	2.62	0.61	1.10	73
苦しいことや辛いことを、最後までやりぬくこと	74	2.49	0.65	2.39	0.68	1.31	73
運動の中で、みんなと「はしゃぐ」こと	73	2.60	0.60	2.66	0.56	0.82	72
目標を作って、それに向かって練習すること	72	2.56	0.63	2.60	0.64	0.55	71
運動によって、何かを新しく発見すること	74	2.62	0.57	2.68	0.58	0.63	73
今までできなかったことが、できるようになること	74	2.89	0.39	2.89	0.42	0.58	73
試合で勝つこと	74	2.84	0.44	2.84	0.42	0.22	73
すばらしいプレーが、できるようになること	72	2.75	0.55	2.79	0.50	0.65	71
人より良い記録を作ること	74	2.66	0.53	2.72	0.54	0.82	73
身体の調子が良くなること	72	2.74	0.50	2.74	0.48	0.00	71
健康な身体になること	71	2.76	0.49	2.80	0.47	0.77	70
人の運動を見ること	72	2.58	0.62	2.47	0.69	1.27	71
いろんな運動がみんなより、早くできるようになること	74	2.49	0.63	2.68	0.58	2.16	73

※「楽しくない」から「楽しい」までの3段階評定尺度を設定し、得られた回答を数値化し、その平均値の差の検定を行った。

運動の楽しさに関する質問 30 項目をプログラム前後で比較したところ、非改善群では、「いろんな運動がみんなより、早くできるようになること」の 1 項目で統計的に有意な上昇を示した。

(3) 体力向上プログラムを受けた後の、運動・スポーツ活動に取り組む意識の変化(変化のあった児童の自由回答)

- 4年生 女子 走った時は、はじめはあまりだったけど、コツが分かって速くなった。
- 4年生 女子 走る時に、足と手を交互に出すようになり、スピードも変わった気がする。
- 4年生 女子 速く走れるようになった。
- 4年生 男子 速く走れた。
- 4年生 男子 スタートダッシュが速くなった。
- 4年生 女子 走りの出だしが速くなった。
- 4年生 男子 切り返しが上がった。
- 4年生 男子 走りが少し速くなった。
- 4年生 男子 短距離が少し速くなったと思った。
- 4年生 女子 出だしのところ。
- 4年生 男子 教えてもらったように練習して、みんなに教えている。
- 4年生 男子 足の速さが速くなりました。
- 4年生 女子 反復横跳びで、バレーの体操でやっていて、それが前まで3位だったけれど、1位になった。
- 4年生 男子 前より運動するようになりました。
- 4年生 女子 教えてもらってから、走る時にタイムが上がったことです。
- 4年生 男子 手を縦振りで走ったこと。
- 4年生 女子 持久走で走り方を意識しています。
- 4年生 女子 腿を上げるようにしたら、持久走の時にタイムが上がった。あと、手を振ったり足を上げるとタイムが上がった。
- 4年生 女子 持久走の時に前の人を見て走ったり、腕を振ったり工夫をするようになった。
- 4年生 男子 サッカーで変わった。
- 4年生 女子 頑張ろうと思えば、いくらでも伸びること。
- 5年生 女子 運動することが楽しいと思えました。
- 5年生 女子 自分の苦手な切り返し走を、前よりも速くなりたいと思うようになった。
- 5年生 女子 運動することが多くなった。
- 5年生 女子 たくさん運動するとスッキリする感じ。
- 5年生 女子 少し走る時の走り方を気を付けている。
- 5年生 男子 ちょっと走りが速くなった。
- 5年生 女子 走り出す時、左手と左足を一緒に出してから走っていたけれど、右足と左手に直したら速くなりました。
- 5年生 男子 走る姿勢が変わった。
- 5年生 女子 たくさん運動すると、スッキリする。
- 5年生 女子 走り方を気を付けている。

- 5年生 女子 はじめは運動することが面倒くさかったけれど、体力向上プログラムの運動をして、運動するのが楽しくなってきたことです。
- 5年生 男子 走り出す時、少し意識するようになった。
- 5年生 女子 バランスでしっかり足で止めたりして、運動する時も意識していません。
- 5年生 男子 もっと練習するところ。
- 5年生 男子 アドバイスをしてもらって、バドミントンで使っている。
- 5年生 男子 アドバイスを思い出して、スタートダッシュが速くできるようになった。
- 5年生 女子 やっていないけれど、聞いていたスタートダッシュとかを気を付けている。
- 5年生 女子 アップの時に、こうすれば速く行くと言っていたなと思えながらやるようになった。
- 5年生 男子 もうちょっと速く走りたいという目当てを持った。
- 5年生 女子 スタートダッシュが良くなった。
- 5年生 男子 長い距離を走っている時、ペースがいつもより速くなったことです。
- 5年生 男子 走る時のポーズを意識してなかったけれど、走る時のポーズを意識した。
- 5年生 女子 言われたことを意識して走るようになった。
- 5年生 女子 自分がかっこよく練習したら良いと言われたところを考えながら、運動やスポーツをやるようになった。
- 5年生 女子 前も運動が大好きだったけれど、終了後、もっとさらに運動が大好きになった。
- 5年生 女子 どうやったら速く走れるかなどを考えるようにしようと思うようになった。
- 5年生 女子 持久走で、諦めずに走るようになりました。
- 5年生 男子 走り方を意識しながらできるようになった。
- 5年生 女子 体操をする時のジャンプを、少し高めに飛んで、高跳びなどで飛べるように工夫している。
- 5年生 女子 鬼ごっこの曲がるところが苦手だったけれど、曲がりやすい方法を教えてもらって、曲がれるようになった。
- 5年生 女子 今まであまり意識せずにやっていたけれど、終了後にはできないと思ったことができたので、他のことでもできるかもしれないと思うようになった。
- 5年生 男子 サッカーの試合の中で、ダッシュをする時の一歩目を大事にしています。(一歩目のスタートのスピードを速くすることを意識しています。)
- 5年生 女子 少し走るのが速くなった。
- 5年生 女子 アドバイスしてくれたことを頭に入れて、運動・スポーツに取り組むこと。できなかったことができたのが嬉しかった。とても意識できた。
- 5年生 女子 少し、苦手なスポーツも自分ができると「信じて」やるようにしている。

- 5年生 女子 走り方のフォームなどを意識するようになりました。例えば、少し前かがみになって走ってみる、とかです。加速を意識しています。
- 5年生 女子 自分は走っている時に加速があまりできていなかったけれど、先生とかにアドバイスをしてもらって、それを意識するようになりました。
- 4年生 女子 腕の振りをよく動かせるようになった。地面を蹴るように走れるようになってきた。
- 4年生 女子 走る時に、足と手を一緒にしないように意識している。
- 4年生 男子 小さいことを工夫して走ったり跳んだりするようになった。
- 4年生 女子 速さの記録が変わりました。
- 4年生 男子 走るのが速くなりました。
- 4年生 女子 走り方で、少し足のつき方が変わった。
- 4年生 男子 速く走れるようになった。
- 4年生 女子 ヨーイをする時に、手足が同じにならなくなりました。
- 5年生 男子 注意されることを意識すること。
- 5年生 男子 もっと運動が好きになった。
- 5年生 男子 瞬発力が少し上がった。
- 5年生 女子 今までは、スポーツは男子がやることと思っていたけれど、体力向上プログラムをやって、女子でも楽しめるスポーツの魅力を感じることができました。
- 4年生 男子 習い事で、投手になった。
- 4年生 男子 取り組む時に、すごくワクワクするようになった。
- 4年生 女子 意識するようになった。
- 4年生 男子 大腿で走ることを意識するようになった。
- 4年生 女子 短距離で走る時には、足を速く上げることが分かったから、速く足を上げています。
- 4年生 女子 走る時に足を大きく広げて走ること。
- 4年生 女子 とても運動が楽しくなりました。
- 4年生 女子 走り方が意識するようになった。
- 4年生 女子 スタートダッシュの時にうまくできるようになった。みんなと同じくらいの体力がついて楽しく遊べるようになった。
- 4年生 女子 習い事でボールを取られた時、すぐに戻れるようになった。
- 4年生 女子 手の振り方が、ゲーからパーで走るようになった。
- 4年生 男子 前より楽しく運動をするようになった。
- 4年生 女子 体力に少し自信がついた。
- 4年生 女子 どうやって走れば速くなるか分かった。
- 4年生 女子 結構、速く走れるようになった。
- 4年生 女子 足が速くなって、友だちに「速い」と言われた。
- 4年生 女子 スタートダッシュで、手と足を逆にすること。
- 4年生 男子 走り方で、左足が前。
- 4年生 女子 苦手なことがあまりなくなった。
- 4年生 女子 冬休みなどの長い休みの期間に、朝や昼、家の前を走るようになった。

- 4年生 女子 友だちと走ると、ちょっとだけ速く走っていたこと。
- 4年生 男子 走りが速くなった。
- 5年生 男子 走る時に、足の幅などを意識するようになった。
- 5年生 女子 競走の時に、教えてもらったスタートダッシュをやった。
- 5年生 男子 少し走るのが速くなった。
- 5年生 女子 方向を変えるのが速くなって、鬼ごっこなどであまり捕まらなくなった。
- 5年生 女子 真剣に運動に励むようになった。
- 5年生 男子 最後のランンを見なくなった。
- 5年生 女子 外で遊ぶようになった。
- 5年生 女子 スタートダッシュのやり方が変わりました。走る時の足の形や腕の振り方が変わりました。
- 5年生 男子 練習をし、タイムを上げた時嬉しくなったこと。
- 5年生 男子 習ったことを意識できている。
- 5年生 女子 体育の授業の時は、前より頑張っている。
- 4年生 女子 もう少し、たくさん走ろうと思った。
- 4年生 女子 やろうと思った。やってみようなどのことを思った。
- 4年生 男子 バasketボールの走りで、教えてもらったスタートダッシュのフォームを変えた。
- 4年生 女子 走る時の姿勢が変わった。
- 4年生 男子 もっと速く走る為の手の動きなどを意識している。
- 4年生 女子 最後まで速く走れるようになった。
- 4年生 男子 運動について走ったりする時、意識しながら走ろうと思った。
- 4年生 男子 スタートダッシュをもうちょっと頑張る。
- 4年生 女子 走り方が変わった。
- 4年生 男子 スタートダッシュの時に意識している。
- 4年生 女子 ジャンプが高くなったと思う。
- 4年生 男子 ジャンプ力が上がった気がする。
- 4年生 男子 すぐにダッシュをすることが分かった。
- 4年生 男子 スタートダッシュを気にするようになった。
- 4年生 男子 スタートダッシュを意識している。
- 4年生 男子 ジャンプ力が高くなったことと、走りが速くなった。
- 4年生 男子 スタートダッシュを意識してと言われてやったら、うまくいった。
- 4年生 女子 切り替えが少し速くなった。
- 4年生 男子 スタートダッシュを速くしようと思った。
- 4年生 女子 足が走る時に弾んだり、跳び箱の時に、ジャンプ力が活かされたと思います。
- 4年生 女子 地面を強く蹴って走るのを意識している。
- 4年生 女子 犬の散歩のついでに、犬と一緒にダッシュの練習をするようになった。
- 4年生 女子 走る時に、手の振り方を意識している。

4年生 女子 背筋を伸ばして、ちゃんと手を振ること。

4年生 男子 走る時にスタートダッシュが速くなった。

4年生 女子 スタートダッシュに気を付けています。

4年生 男子 ジャンプ力が上がった。

4年生 女子 スタートダッシュが速くなった。

4年生 男子 走りが少し速くなった。

4年生 男子 体力向上プログラムで教えてもらったことを意識して走ると、速く走れた。

4年生 女子 腕を良く振る。

5年生 男子 シャトルランで、踏み切る時の大きさを意識できた。

5年生 女子 最初のスタートダッシュのやり方を教えてもらったので、前よりも速く走れるようになりました。

5年生 男子 スタートの時の格好に気を付けて走れるようになった。

5年生 女子 バネ力をつける為、走ることを始めた。

5年生 女子 走り方を教えてもらい、意識するようになった。

5年生 男子 スタートダッシュのところで、教えてもらったことを意識している。

5年生 女子 自分で意識してやるのが、できるようになった。

5年生 男子 教えてもらったことをたまに意識しながら運動するようになった。

5年生 男子 走る時の最初を教えてもらって、ちょっと変わった。

5年生 女子 ジャンプ力がよくなった。

5年生 男子 スタートダッシュが速くなった。

5年生 女子 自分はどのようなのが苦手な種目なのかを知った。

5年生 女子 具体的に教えてもらったものでしたら、運動がもっと楽しくなった。

5年生 女子 自分の欠点をもとに、どのようなことを重点的に取り組めば良いのか考えられるようになった。

5年生 男子 外でたくさん遊ぶようになった。

5年生 男子 運動にはいろいろな方法があると分かった。

5年生 男子 ジャンプが高く感じた。

5年生 男子 ジャンプは大きく手を振ること。

5年生 女子 もっと体力をつけようと思った。

4年生 女子 休みの日に、体力をつけていた。

4年生 男子 準備運動をしっかりとするようになった。

4年生 女子 ダッシュを頑張っています。

4年生 女子 前より運動をして、少しでも体力を増やそうとしている。

4年生 男子 ダッシュを速くしている。

4年生 女子 ストレッチを、今日やることを意識している。

4年生 男子 ダッシュを頑張っている。

4年生 女子 スタートに飛ぶようにいくこと。

4年生 女子 スタートダッシュを頑張っています。

4年生 女子 悪いところを直すように意識した。

4年生 男子 走る時、スタートをはやくする意識をするようになりました。

4年生	女子	ストレッチをしっかりとするようになった。
4年生	男子	走るのを頑張っている。
4年生	男子	ダッシュを頑張っている。
4年生	女子	体を柔らかくするように意識している。
4年生	男子	短距離をダッシュしている。
4年生	女子	走る時の目線を意識した。
4年生	女子	ストレッチをしっかりとした。
4年生	女子	前は体育が好きではなかったけれど、この機会に少し好きになった。
4年生	男子	タイムがかなり速くなった。
4年生	女子	家で、教えてもらったことをやっている。
4年生	女子	スタートダッシュが少しだけ速くなった。
4年生	女子	スタートダッシュが速くなって、楽しくなった。
4年生	男子	スタートダッシュが速くなった。
4年生	男子	しっかりと股の間を三角形を作るようにしてきりかえる。
4年生	女子	前までは運動が苦手だったけれど、体力向上プログラムで運動が楽しくて、いろいろなことをするようになった。
4年生	男子	前からスポーツは好きだったけれど、前よりもっとスポーツが楽しくなった。
4年生	女子	教えてもらったことを意識してしました。
4年生	男子	最後までがんばる。
4年生	女子	スタートダッシュが速くなった。
4年生	女子	短距離が速く走れるようになった。
4年生	男子	自分の体力を見て、もう少し鍛えるようになった。
5年生	男子	ちょっと長めに運動するようになった。
5年生	女子	走り方を意識して走れるようになった。
5年生	女子	走り方や姿勢を意識するようになりました。
5年生	女子	走る時にしっかりと腕を振ることや目線を高くしたりすることを意識するようになった。
5年生	男子	走り方に自信があったが、ジャンプの方が良かった。
5年生	男子	嫌な運動も好きになった。
5年生	女子	自分からすすんで運動をするようになった。
5年生	女子	走りやすさです。
5年生	男子	適度な運動をし、個別で頑張っているから。
5年生	女子	体育の時間が、少しだけ楽しみになってきた。
5年生	男子	走り方を意識するようになった。
5年生	女子	出来ないことを目標にして、運動するようになった。
5年生	男子	走りが速くなった。
5年生	女子	バレーボールをしていて、ジャンプが前より高く跳べるようになった。
5年生	男子	運動神経が良くなった。
5年生	女子	ヨーイドンのポーズなどが変わった。

- 5年生 女子 土日の朝に、マラソンをしたりしたこと。
- 5年生 男子 もっと運動しようと思った。
- 5年生 女子 スタートダッシュ。足を上げる。手をふる。
- 5年生 男子 走りが速くなった。
- 5年生 男子 楽しく真剣にやること。
- 5年生 男子 走りが速くなった。
- 5年生 女子 ジャンプ力が上がった！！
- 5年生 女子 走る時の姿勢の意識が変わりました。
- 5年生 女子 ジャンプ力が高くなったり、走りが少し速くなった。
- 5年生 男子 ちょっと走りが速くなった。
- 5年生 女子 教えてもらったことを意識するようになった。
- 5年生 女子 部活動でバスケットボールをしていて、シュートが入りやすくなりました。
- 5年生 男子 足がいつもよりちょっと速くなった。
- 4年生 男子 スタートダッシュが少し速くなった。
- 4年生 女子 走ることが好きになった
- 4年生 男子 走る時のスタート。下半身のバランス。
- 4年生 女子 気づいた時に教えてもらったことをしています。
- 4年生 女子 教えてもらっていいやり方がわかりました。
- 4年生 男子 走る体勢。
- 4年生 男子 ちょっと意識してやっている。
- 4年生 女子 友だちと遊ぶ時に、外で体を動かす遊びが増えた。
- 4年生 男子 スタートダッシュの時に、前におもいきり跳んで行くのを意識していた。
- 4年生 男子 走ることが変わった。
- 4年生 男子 鬼ごっこでちょっと意識するようになった。
- 4年生 女子 姿勢が曲がっているのを、それを意識している。
- 4年生 男子 スタートの時、速くなった。
- 4年生 男子 走る時に「よーい」の時、手と足が違う方向になるように意識しています。
- 4年生 男子 相手の気持ちを考える。
- 4年生 男子 このプロジェクトの成績が上がるように、これから体力づくりに励んでいきたいと思えるようになりました。
- 4年生 女子 走るのが速くなった。
- 4年生 男子 加速が速くなり、スポーツも上手くなった。
- 4年生 男子 走る時の足と手を逆にすること。
- 4年生 女子 走りたいと自分で思った。
- 4年生 女子 毎朝、5分走っている。
- 4年生 男子 バネをふやそうとしています。
- 4年生 男子 走るのを意識している。
- 4年生 男子 スポーツ（運動）をすることが多くなった。

- 4年生 女子 縄跳びの二重跳びで、できるだけ高く跳ぶのを意識している。
- 4年生 女子 走る時に、足と手を「よーい」の時に同じにしなくなった。
- 4年生 男子 足、手の出し方。
- 4年生 男子 太股を上にあげるようになった。
- 4年生 女子 体を動かした方が楽しいということが分かった。
- 4年生 男子 走るにも、良い姿勢があるんだなと思った。
- 4年生 男子 好きやけれど、スポーツがさらに好きになった。
- 4年生 男子 バasketボールが前よりうまくなった。
- 4年生 男子 スポーツが楽しくなった。
- 4年生 女子 自分から運動をしようと思った。
- 4年生 男子 いつも外で遊ぼうと思った。
- 4年生 女子 速く走れるようにする方法を教えてもらった日から、やってみると、速く走れるようになって、走り方も大切だな！！と思いました。
- 4年生 男子 体力向上プログラムをやったおかげで、運動が好きになった。
- 4年生 男子 速く走りやすくなりました。
- 4年生 男子 朝、ランニングや素振りができるようになった。
- 4年生 女子 中間休みの5分間走で、おもいっきり走りたくなった。
- 5年生 女子 走りやすくなった。
- 5年生 女子 スタートダッシュを意識した。
- 5年生 女子 走り方に気をつけようと思った。
- 5年生 女子 少し、運動やスポーツが好きになった。
- 5年生 女子 よく運動するようになった。
- 5年生 女子 こまめに走るようになった。
- 5年生 女子 スタートダッシュの仕方が良く分かった。
- 5年生 男子 自分の苦手なことを知って、そこをうまくなろうと思った。
- 5年生 男子 走りが速くなった。
- 5年生 女子 スタートダッシュが速くなった。
- 5年生 男子 走り方。
- 5年生 女子 スポーツをすることが少し楽しくなり、疲れにくくなった。
- 5年生 女子 どうすれば速く走れるのかということが分かった。
- 5年生 男子 走り方を直してもらってから、続けている。
- 5年生 女子 体がすぐ動く。
- 5年生 男子 走り方に意識を持った。
- 5年生 女子 タイム（走りの）が速くなった（気がする）。
- 5年生 女子 走りの速さ。
- 5年生 女子 運動をしたら、こんなことがあるんだなあという気持ちが変わった。
- 5年生 男子 難しいことをできるようになった。
- 5年生 女子 運動がもっと好きになった。